



慶應義塾 墨田区三田会 会報

墨田区三田会

発行人 嶋田 廣雅

sumidaku1987@krb.biglobe.ne.jp

創立 30 周年を迎えてさらなる発展をしよう



会長挨拶

墨田区三田会会長 嶋田 廣雅 (昭 52 経)

ようやく暑い夏も終わり・・・実は、明日オリンピックが開幕という日に本稿を書いています。卒業してもうすぐ 40 年、月日の経つのは早いものと痛感いたします。

同時に慶應を卒業して本当に良かったと思っています。立場上、他大学の OB 会に招かれることがよくありますが、そんな時に必ずこう言われます。「うちは三田会を手本として活動しています」と。

もちろん、これは墨田区三田会のことではなく、三田会全般に対してであります。つい先頃も経済誌が「三田会特集」として発行されていました。福澤諭吉自身が「塾の発展は、社中の協力で・・・」という趣旨の記述をしています。しかし、諭吉本人でさえ現在の三田会の発展は予見出来なかったことでしょう。

さて、翻って私自身はどうして慶應を選んだのか。私は志木高

から慶應にお世話になりましたが、その志木を選んだ理由は敷地の広さでした。昭和 40 年代半ば、柿畑の中を野火止用水が流れ、先の見えないほどの林に囲まれていました。運動部が一斉に運動できるほどグラウンドも揃っていました。その面積 126000 m² (因みに立教 150000 m²、国士館 90000 m²、早稲田学院 66000 m²、桐朋 34000 m²、日比谷 18000 m²と今でも覚えている)。

受験前に下見に行き、野球場があるのを確認して、「俺の青春はここだ!」と思ったものでした。なにしろ、甲子園で活躍して、巨人に入団し、長嶋と一緒にプレーするのが夢でしたから。

従って入学前は、慶應のことは殆ど知りませんでしたが春秋の慶早戦を経て徐々に慶應狂になっていきました。授業は休みになるし、試合は NHK が中継するし、優勝すればトンガリ帽子で銀座へ繰り出す。下町特有の祭好きの血が騒ぐのかもしれない。

慶應で良かったと思うのは、若き血を歌う時だけではありません。それは三田会の行事に参加する度に思います。年度後半もいろんな行事が目白押しです。ぜひ皆さんも参加して「慶應で良かった」と実感してください。

平成 28 年～29 年 行事予定 / ホームページからも確認いただけます <http://sumidakumitakai.com>

H28	5 月 21 日 (土)	ゴルフ (春)	江戸崎カントリー倶楽部 (終了)
	5 月 27 日 (金)	墨田区三田会総会	東武ホテルレバント東京 (終了)
	9 月 8 日 (木)	ビジネスの会 (講演会)	曳舟文化センター/第一会議室
	10 月 15 日 (土)	グルメの会 (秋)	下町フレンチレストラン・コバヤシ
	11 月 5 日 (土)	ゴルフ (秋)	船橋カントリー倶楽部
	11 月 12 日 (土)	ハイキング	三田キャンパス界限
H29	1 月	新年会/向島「きよし」、	2 月～3 月/グルメの会 (春)、
	5 月 20 日 (土)	墨田区三田会総会 2017	東武ホテルレバント東京

スマホから下の QR コードで HP の行事予定詳細が見られます

